



平成29年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社クラウドワークス 上場取引所 東
 コード番号 3900 URL http://crowdworks.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉田 浩一郎
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 CFO (氏名)桑江 崇行 (TEL)03(6450)2926
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績(平成28年10月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	1,050	16.7	△342	-	△338	-	△353	-
28年9月期第3四半期	900	-	△434	-	△433	-	△477	-

(注) 包括利益 29年9月期第3四半期 △347百万円 (-%) 28年9月期第3四半期 △481百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	△26.30	-
28年9月期第3四半期	△35.98	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高はありますが、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第3四半期	2,849	1,578	54.7
28年9月期	2,911	1,757	60.3

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 1,557百万円 28年9月期 1,755百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
29年9月期	-	0.00	-	-	-
29年9月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日~平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,600	30.2	△490	-	△490	-	△500	-	△37.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社 (社名) 、 除外 - 社 (社名)

(注) 特定子会社の異動には該当いたしません。当第3四半期連結会計期間より、「株式会社graviee」の株式の51%を取得したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年9月期3Q	13,551,660株	28年9月期	13,277,660株
② 期末自己株式数	-株	28年9月期	-株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	13,426,832株	28年9月期3Q	13,277,660株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は完了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、不安定な米国政権や欧州での相次ぐ国政リスク、朝鮮半島・中東などにおける地政学リスクの高まりを受け、円高懸念から起こる為替リスク等、様々な外的要因が景気回復期待に水を差しかねない状況が継続しています。企業の業況感には改善傾向にあるものの実態経済への波及は限定的で、民間消費の浮上には今しばらくの時間を要するものと思われま

す。こうした環境の中、長時間労働・残業などが日本経済の足を引っ張り生産性を下げているとの指摘が従来からなされていることもあり、官民双方から「働き方改革」の機運が高まってきております。安倍内閣にとっても「働き方改革」は大きなチャレンジと位置付けられており、兼業・副業やフリーランスのような、従来の雇用関係に依存しない働き方の選択肢の創出が社会からも強く求められるようになってきています。平成24年就業構造基本調査によれば副業を営む者は234万3,900人存在し、全就業人口の3.6%程度となっていますが、これは今後、自由な働き方を選択する人々が増加する可能性を大きく秘めていることも示唆しているものとも言えます。

このような環境下、当社グループは『“働く”を通して人々に笑顔を』というミッションのもと、多様な働き方の選択肢を提供すべく事業を推進してまいりました。

平成29年4月よりスタートした「ビズアシスタントオンライン」はリリース以降順調に営業収益を伸ばしており、これまで様々な理由により就労が困難だった非エンジニア部門のスペシャリストに、在宅業務という選択肢を提供することを可能にしました。

また、テレワーク推進4省、内閣官房及び内閣府が展開する「テレワーク・デイ」にも特別協力団体として参加をしており、従来の形にとらわれない働き方の新しい形の実現に向けて全社を挙げて取り組みを進めております。このような取り組みを続けてきた結果、クラウドソーシングの認知度は社会でも徐々に高まってきており、当社のプラットフォーム事業は堅調な伸びを見せております。

以上により営業収益は順調に拡大している一方で、将来的な業容拡大を見込んで引き続き積極的に投資を続けたことにより、四半期純損失を計上しております。

上記の結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は1,050,847千円（前年同期比16.7%増）、営業損失は342,051千円（前年同期は営業損失434,726千円）、経常損失は338,729千円（前年同期は経常損失433,047千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は353,111千円（前年同期は親会社に帰属する四半期純損失は477,732千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて62,007千円減少し、2,849,294千円となりました。これは主に、現金及び預金が341,921千円減少したことや、売掛金が72,117千円増加したこと並びに、預け金が105,723千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて116,544千円増加し、1,270,482千円となりました。これは主に預り金が86,361千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて178,551千円減少し、1,578,812千円となりました。これは新株予約権の行使による増資に伴う資本金・資本剰余金の増加がそれぞれ76,497千円あった一方、親会社株主に帰属する四半期純損失353,111千円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期の業績予想につきましては、平成28年11月10日に公表しました業績予想から修正を行っておりません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は第1四半期連結会計期間において株式会社クラウドワークスベンチャーズを新規設立いたしました。また、第2四半期連結会計期間に連結子会社であった株式会社SeALは清算終了となり、連結の範囲から除外しております。

また、当社グループ全体の事業基盤の強化、総合的な企業価値向上を目的として、既存株主からの株式買取により株式会社gravieeを連結子会社化（発行済み株式の51.0%を取得）しております。

なお、事業の内容について重要な変更はなく、引き続き当社の報告セグメントは「クラウドソーシング事業」のみであります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,132,290	1,790,368
売掛金	210,638	282,755
未収入金	199,679	218,748
預け金	69,188	174,912
営業投資有価証券	45,767	78,656
その他	45,061	64,578
流動資産合計	2,702,626	2,610,019
固定資産		
有形固定資産	72,175	64,173
無形固定資産	2,313	43,425
投資その他の資産	134,187	131,675
固定資産合計	208,675	239,275
資産合計	2,911,302	2,849,294
負債の部		
流動負債		
短期借入金	32,000	486
1年内返済予定の長期借入金	-	2,004
未払金	207,409	272,670
未払法人税等	9,473	18,902
預り金	707,616	793,977
その他	149,926	130,607
流動負債合計	1,106,425	1,218,648
固定負債		
長期借入金	-	5,157
資産除去債務	37,487	37,657
その他	10,023	9,019
固定負債合計	47,511	51,834
負債合計	1,153,937	1,270,482
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,690,680	1,767,177
資本剰余金	1,648,680	1,725,177
利益剰余金	△1,580,870	△1,933,982
株主資本合計	1,758,489	1,558,371
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,712	△419
その他の包括利益累計額合計	△2,712	△419
新株予約権	1,587	542
非支配株主持分	-	20,318
純資産合計	1,757,364	1,578,812
負債純資産合計	2,911,302	2,849,294

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
営業収益	900,562	1,050,847
営業費用	1,335,288	1,392,899
営業損失(△)	△434,726	△342,051
営業外収益		
受取利息	179	32
業務受託手数料	450	450
講演料・原稿料等収入	1,508	1,949
その他	679	943
営業外収益合計	2,816	3,375
営業外費用		
支払利息	1,038	52
株式交付費	90	-
その他	10	-
営業外費用合計	1,138	52
経常損失(△)	△433,047	△338,729
特別利益		
新株予約権戻入益	-	1,251
特別利益合計	-	1,251
特別損失		
投資有価証券評価損	-	7,217
減損損失	32,798	-
特別損失合計	32,798	7,217
税金等調整前四半期純損失(△)	△465,846	△344,695
法人税、住民税及び事業税	1,769	6,559
法人税等調整額	10,115	△1,004
法人税等合計	11,885	5,555
四半期純損失(△)	△477,732	△350,250
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	2,861
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△477,732	△353,111

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△477,732	△350,250
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,604	2,292
その他の包括利益合計	△3,604	2,292
四半期包括利益	△481,336	△347,957
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△481,336	△350,819
非支配株主に係る四半期包括利益	—	2,861

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第3四半期連結累計期間において新株予約権の行使請求に伴い、新株式274,000株の発行を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ76,497千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,767,177千円、資本剰余金が1,725,177千円となっております。

(セグメント情報等)

当社の報告セグメントは「クラウドソーシング事業」のみであり、その他の事業セグメントは開示の重要性が乏しいため、記載を省略しております。